

事業概略書

事業名	自立支援法関連事業と連携を密にした小規模多職種在宅支援チームによる訪問型ピアサポートの効果と人材育成に関する調査研究
事業目的	この調査研究では、(1)地域精神保健福祉システム全体の中でのピアサポート活動同士の連携や役割分担、機能分化を視野に入れた圏域事例検討を中心に実施した。特に、(2)今後地域移行推進によって重要性が増すであろう、訪問を中心とする小規模多職種在宅支援チームにおけるピアサポートの意義と効果、さらにそこでピアサポーターを支援する際のノウハウや人材育成の在り方について、チームのピアサポート活動を前方視的に追跡することで検討した。
事業概要	(1)仙台市における関連団体とのネットワークのなかで、精神障害領域のピアサポート実施状況を把握し、①精神障害領域のピアサポートを行っている当事者、②当事者スタッフを採用している専門家、などの対象者へのグループインタビューを実施した。(2)仙台市内の「東北福祉大学せんだんホスピタル」に設置されている小規模多職種在宅支援チームにおいて導入された訪問型ピアサポートの活動を前方視的に追跡し、①ピアサポートを受けた利用者、②ピアサポーター、③専門家、へのインタビューにより各々の意識の変化を抽出した。
事業実施結果及び効果	自然発生的なピア活動を無理に束ねる必要はないが、就労の問題として捉えると、待遇の改善・役割の明確化・情報共有の在り方・研修の充実・地域での当事者スタッフ雇用のシステム化、などの課題を抱えている。当事者スタッフの存在は、利用者への共感性・将来のモデル像となること・スタッフへの研修効果、などのメリットがあるが、医療機関や相談支援事業所に来所できない利用者には訪問でのピアサポートも重要である。多職種チームでの雇用では、職場外のネットワークで面識のある当事者を迎え入れることでの相互の安心感、チームリーダーの調整、スタッフの個性を大事にした日々の活動が大切であること、その中で専門家も当事者スタッフも意識が変わり、互いに学ぶことが多いことが示唆された。この事業により、精神障害ピアサポートの現状と課題が多様な視点から明らかにされた。特に、多職種訪問チームにおけるピアサポートの在り方を検討する際の資料として位置づけることができる。
事業主体	〒981-0943 宮城県仙台市青葉区国見1-8-1 学校法人 梅檀学園（東北福祉大学） TEL：022-233-3111 E-MAIL：tfuhojyo@tfu-mail.tfu.ac.jp